

第2号議案

事業計画 第8期の基本方針

まず楽しい出会いから～自分らしさ×はたらく = 楽しさの方程式を
第8期は、潜在顧客との「楽しい出会い」から、「働き方のダイバーシティ」を推進する取り組みに注力します。

「だれもが自分らしく働くことができる未来づくり」には、「(自分らしさ) × (はたらく) = (楽しさ)」の方程式が望まれます。第8期は、「楽しさ」という感情と「はたらく」をつなげる様々な活動に取り組むことを大切にします。

個性×環境 + 関係性

「楽しい出会い」からダイバーシティという価値観に出会い、就労の有無に関係なく、以下の切り口でサポートします。

- ①個性.....自分らしさを知り、自分らしさを認める
- ②環境.....人材の価値が最大化する環境をデザインする
- ③関係性.....安心感を抱けるコミュニティを形成する

第2号議案

事業計画 はたらく窓口1-1

概観)

「はたらく窓口」では、ダイバーシティ推進に出会う最初のきっかけとして、CQ個性分析テスト（はたらく診断）を中心に事業を設計する。そこから、働き方の多様化の問題提起をし、共感を集めていけるようなコミュニティ形成を図る。

（具体的な活動）

（1）はたらく診断

CQ個性分析テスト（ACSとHCST）を用いた解説セッションを提供する。定期的な体験会実施の他、オンラインでのテスト実施と解説が実施できるようにシステムを整える。また、はたらく診断の組織パッケージなどを用いてコンサルティングを行う。

- ①定期的なはたらく診断の企画と集客（1回8名程度）
- ②CQ企業パッケージの組織解説
- ③CQ個性分析テストのデータ分析と事業所提案
- ④月4回のCQA特別講座出張

第2号議案

事業計画 はたらく窓口1-2

(2) はたらく手帳

「はたらく手帳 (R)」を通じて働き方の多様化を推進し、個人や組織が人材の個性をよりよく活かせるように、はたらく手帳シートを活用したセッションプログラム、講座の運営や、導入提案を行っていく。中でも、大学、企業、就労支援団体などにおいて、モニタリングを積極的に実施し、内容の改定と啓発に努める。

- ①「働いていいとも！」の実施にて、ゲストスピーカーをはたらく手帳で紹介
- ②「働き方浮き彫りプログラム」の実施
- ③はたらく手帳シートを活用したコミュニケーションワークショップの実施

(3) プロジェクト

ダイバーシティ推進を不特定多数の人々に届ける媒体として、「はたらく新聞」の取材、執筆、制作を、はたらく窓口コミュニティのプロジェクトとして再開する。なお、インタビュー対象は、JDNAの新ウェブや、「働いていいとも！」のゲストと有機的に連動させていく。

- ①プロジェクトチームの結成（会員から5名程度）
- ②広報を兼ねたインタビュー対象の選定、取材の打診
- ③ライティング、制作作業

なお、それぞれの活動は合理的に連動し、1アクションが相乗効果となるように設計する。

第2号議案

事業計画 ミライデア 1 - 1

(概観)

現契約で2019年3月末までは、2018年4月に名古屋市に提出している事業計画書に基づいて、実施する。開設日、開設場所は変更なし。

(具体的な活動)

名古屋市在住の15歳から39歳の若年無業者に対してフリースペースの提供を基本に、個別支援計画を立てて、個々のペースにあった自立支援を行う。

- ①電話相談（開設日の10時から16時）
- ②居場所提供（開設日の10時から16時）
- ③個別カウンセリングの実施（相談員、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、臨床心理士）
- ④サークル等の運営（合唱、ハンドメイド、ギター、対話、ヨガ等）
- ⑤コミュニケーションプログラムの実施（「自分の宝探し講座」「ボイスパフォーマンス講座」「マジック講座」「味方学ワークショップ」）
- ⑥娯楽と健康プログラム（タロット、ハッピータッチ、暗闇体験ゲーム、ネットラジオ、調理体験、イベント等）
- ⑦家族情報交換会の運営（月1回のグループカウンセリング&ゲスト講話）
- ⑧北部ステップアップルームとの合同企画（ミラモンフェスタ2019）

第2号議案 事業計画 ミライデア 1 - 2

(その他特記事項)

ミライデアの特徴として、コミュニケーション構造の分析と、それに対するアプローチ助言の効果測定を行うために、以下の調査研究にも取り組む。

- ①利用開始決定者のCQ軸での個別支援計画（利用環境設定）
- ②1年経過観察のCQ個性分析テストでのケーススタディー
- ③CQを活用した支援方針決定のための目安表開発（1月末まで初版作成）

なお、現契約が2019年3月末で満了となる。次期公募企画提案には応募予定である。

第2号議案 事業計画 その他の事業

ダイバーシティ推進活動

(1) ダイバーシティ推進を図る、イベントやセミナーの主催、及び共同実施

法人の活動内容紹介を定期的に行う場をつくる。また、ゲストも迎え、横展開の広報活動を行う。

(2) ダイバーシティ推進の取材

ダイバーシティ推進において著名人や実行者のインタビュー取材を行い、生地をウェブなどに掲載する。

(3) 寄付調達活動

前述の活動を支える一般からの支援として、寄付調達活動を行う。

第2号議案 事業計画 運営体制

